

としょかんカレンダー

ホー

HOOT

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7

はやすみ

こんげつ もよお
今月の催し

<u>ととけっこおはなし会</u> 0～3 さいむけ、えほん ^て と手あそびのおはなし会 ^{かい}	10 月 9 日 (金) 10 : 30～10 : 50 25 日 (日) 10 : 30～10 : 50 【3F 視聴覚 ^{しちようかく} ホール】
<u>まめまめわらべうたおはなし会</u> あかちゃん ^{いっしょ} と一緒に、季節 ^{きせつ} のわらべうたであそびましょう	10 月 17 日 (土) 10 : 30～10 : 50 【3F 視聴覚 ^{しちようかく} ホール】
<u>としょかんおはなし会</u> えほん ^て と手あそびのおはなし会 ^{かい}	10 月 24 日 (土) 14 : 00～14 : 30 【3F 視聴覚 ^{しちようかく} ホール】
<u>子ども映画会</u> リトルモンスター 2 おじゃる丸シリーズ わすれた森のひなた	10 月 10 日 (土) 10 : 30～ 【3F 視聴覚 ^{しちようかく} ホール】 2 本立て 約60分 (受付開始 10 : 00～)

としょかんまつり 2026

大津市立図書館 としょかんまつり コンサート 演奏：めおと DUO こまつ

日時：10 月 31 日 (土) 13 : 30～14 : 30 場所：3F 視聴覚ホール 定員：60 人

申込受付：10 月 1 日 (木) 10 : 00～

としょかん秋のおはなし会 Q・ちょこっと工作会

日時：11 月 1 日 (日) 13 : 30～14 : 00 場所：3F 視聴覚ホール 対象：3 歳～小学生

としょかん秋の工作会 リーディングトラッカー工作

日時：10 月 31 日 (土)・11 月 1 日 (日)・11 月 3 日 (祝・火)

10 : 30～15 : 00 随時受付 場所：3F 読書室

[えほん]

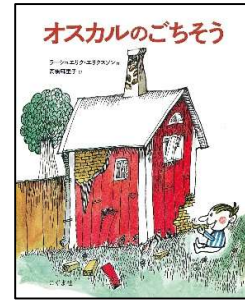


「おまつりって、こわい？」

樋勝朋巳／作

世界文化社 (E23 オ)

おまつりに行きたいけれど、勇^{ゆう}氣^きがでなくて行^いけな^いい
うさぎちゃん。池^{いけ}からとつぜん あらわれた かっぱ
ちゃん、うさぎちゃんを おまつりにつれていってくれ
ました。



「オスカルのごちそう」

ラーシェエリク・エリクスソン／作

高橋麻里子／訳 こぐま社 (E24 オ)

オスカルはたべるのが苦^{にが}手^てです。みんなが大好きな
べものでも、ちっともたべようとしません。そんなオ
スカルが、おなかがすいてたべたものは…？



「きみのいすはなかった」

ダニエル・ギル／文 スーザン・ギャル／絵

かわのたろう／訳 岩崎書店 (E28 キ)

新^{しん}学^{がく}期^きになると、ギル先生^{せんせい}はいつも教^{きょう}室^{しつ}にいすをひと
つ多くおきます。だれの席^{せき}かと聞^きかれると、ギル先生^{せんせい}
は、じぶんが子^こどもだったときの話^{はなし}をはじめます。



「せかいをみてきたペンギンくん」

M. & H. A. レイ／作 木坂涼／訳

好学社 (E27 セ)

ラジ^{きょく}オ^う局^くではたらくペンギンくんは、ラジ^{はな}オ^うで話^{はな}す
「おはなし」がなく^{こま}て困^{こま}っていました。そこで「おは
なし」を見^みつけるため、旅^{たび}にでました。



「マザーツリー 森を育てるおかあさんの木」

シビル・ローゼン／文

ナンシー・カーペンター／絵 千葉茂樹／訳

あすなろ書房 (E31 マ)

森^{もり}のなかにすむセイディのお氣^きにいりの木^きは、樹^{じゅ}齡^{れい}
200年^{ねん}にもなるブナの木です。その木はマザーツリー
と呼ばれていて、見^みえないところ^わで若^{わか}い木^きたちを育^{そだ}
てているのです。



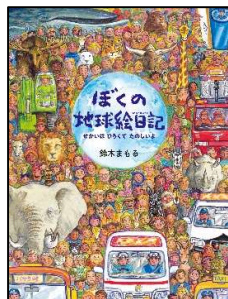
「ワニのクロッカスむしばになる」

ロジャー・デュボアザン／さく こみやゆう／やく

好学社 (E26 ワ)

のうじょうにすんでいるワニのクロッカスは、ギザギ
ザのはをととてもじまんに思^{おも}っていました。ある日^ひ、ひ
どいむしばでぜんぶのはをぬくことになったクロッカ
スは、すっか^{げん}り元^き氣^きをなくしてしまいます。

[ちしきえほん]



「ぼくの地球絵日記」

せいかいはひろくてたのしいよ」

鈴木まもる／作

アリス館（ちしき絵本 E31/ホ/4）

ぼくは山のなかで絵をかいてくらしています。山から村へ、町へ、もっと大きな町へ、世界へ…ぼくの地球絵日記は、どんどんひろがっていきます。



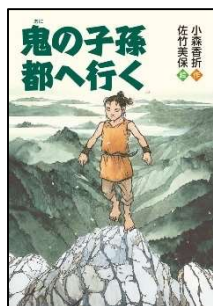
「森の落としもの探検帳」

ちっちゃな宝物のひみつ！」

飯田猛／著 技術評論社（ちしき絵本 E22/モ/4）

森の小道を歩いていると、いろいろな自然の落としものが見つかります。鳥の羽根、穴の開いた葉っぱ、セミの抜け殻などの森の落としものを紹介します。

[にほんのものがたり]



「鬼の子孫都へ行く」

小森香折／作 文研出版（K913 コモ）

平安時代、大和の国の吉野山には鬼の子孫たちが住み、伝説の呪術者である役行者に日々感謝して暮らしていました。上川村に住む鬼の子孫の少年タカは、災いがつづく都へ行くことになりますが…。

[がいこくのものごたり]

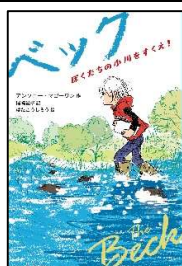


「パレスチナの羊飼」

アン・ローレル・カーター／著 櫛田理絵／訳

あすなろ書房（K933 カタ）

羊飼いの家系に生まれたアマニの家では代々、男の子が羊飼いとなります。でも、女の子のアマニはいつか自分も羊飼いになると心に決めていました。ついに念願の山へ行くことを許されたのですが…？



「ベック ぼくたちの小川をすくえ！」

アンソニー・マゴワン／作 尾崎愛子／訳

岩波書店（K933 マコ）

おじいちゃんの家へやってきたカイルは、ベックという小川へ連れてきてもらいました。そこではじめて見る生き物や自然に驚いたカイルは、おじいちゃんの家へ行くたびにベックでの冒険を楽しむようになりました。



「テディ・ロビンソンのたんじょう日」

ジョーン・G・ロビンソン／作・絵 小宮由／訳

岩波書店（やさしい K933 ロヒ）

テディ・ロビンソンは、デボラという女の子の、くまのぬいぐるみです。はじめてのたんじょう日パーティーをすることになったテディ・ロビンソンは、楽しくて気分がさいこうにもりあがり、大こうふん！

[ちしき]



「ウンム・アーザルのキッチン」

菅瀬晶子／文 平澤朋子／絵

福音館書店 (K383)

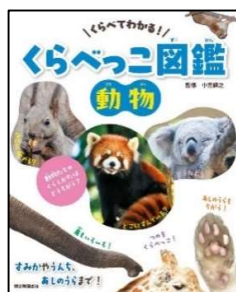
イスラエルに住むアラブ人のウンム・アーザルはキリスト教徒で、週に一度、修道院ではたらいています。苦勞して磨いた料理の腕をふるって、家族との時間を大切にする彼女の一週間を描きます。



「すごすぎる夜空の図鑑」

藤井大地／著 KADOKAWA (K440)

夜空に輝く星の秘密、流星の種類やしぐみ、月の表情や現象などを紹介しています。自分の目で自然を見つめ、毎日の夜空を楽しむヒントを見つけてみよう。



「くらべっこ図鑑 動物」

小宮輝之／監修 朝日新聞出版 (K489)

動物たちのからだや育ちかた、くらし、生きのこるための作戦などを紹介します。いろいろな動物をくらべることで、生きもののちがいや、生きるくふうがわかります。



「動かすのが楽しくなる手のひみつ」

今泉忠明／監修 根橋明日美／文

創元社 (K491)

私たちは毎日の生活のなかのあらゆる場面で、当たり前のように手を使います。ほかのどんな動物よりも器用な人の手の基本的なつくりや、動物たちがどんな手をしているかなど、手の役割について見てみよう。



「自由研究スイーツ」お菓子づくりは実験だ！

八木佳奈／著 村上恵／監修 白泉社 (K596)

お菓子づくりには不思議がたくさんつまっています。紫いもにレモンの搾り汁をかけると色が変わったたり、溶かした後に冷やしたチョコレートがパリパリになったり…。どうして？を考えながら作ってみよう。



「ずかんカイコ」

三田村敏正・柳澤静磨／著 技術評論社 (K630)

カイコとは、どんな虫でしょう？ カイコの基本から飼育方法、カイコのお仕事、養蚕の歴史と文化について紹介します。様々な模様の幼虫や繭の色がちがうカイコをあつめた品種図鑑ものっています。